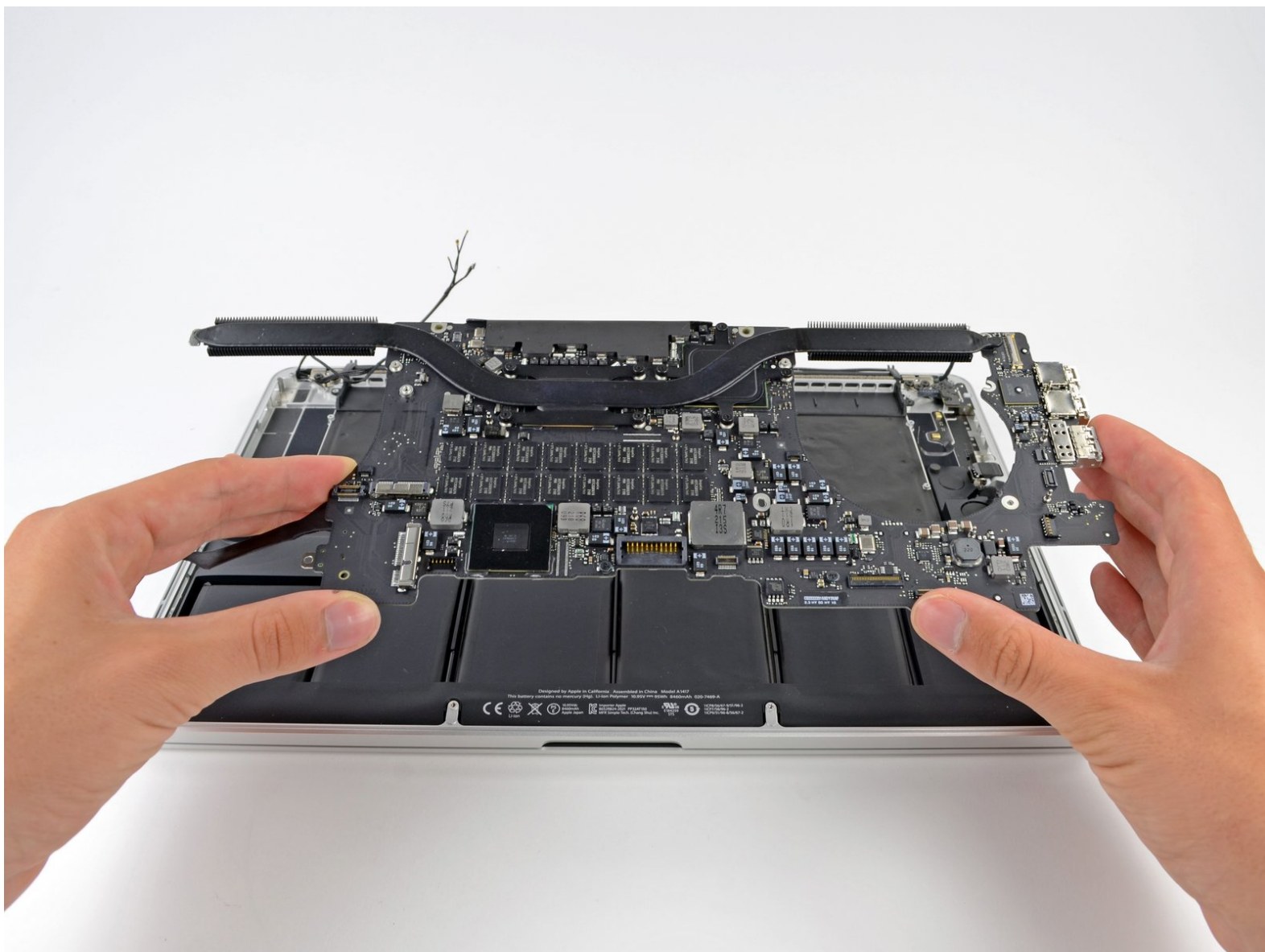




MacBook Pro 15インチ Retina Display Late 2013ロジックボードアセンブリの交換

2013年の基板交換用の必須条件。ヘッドホンジャック以外2013年初期のモデルと同じ手順です。

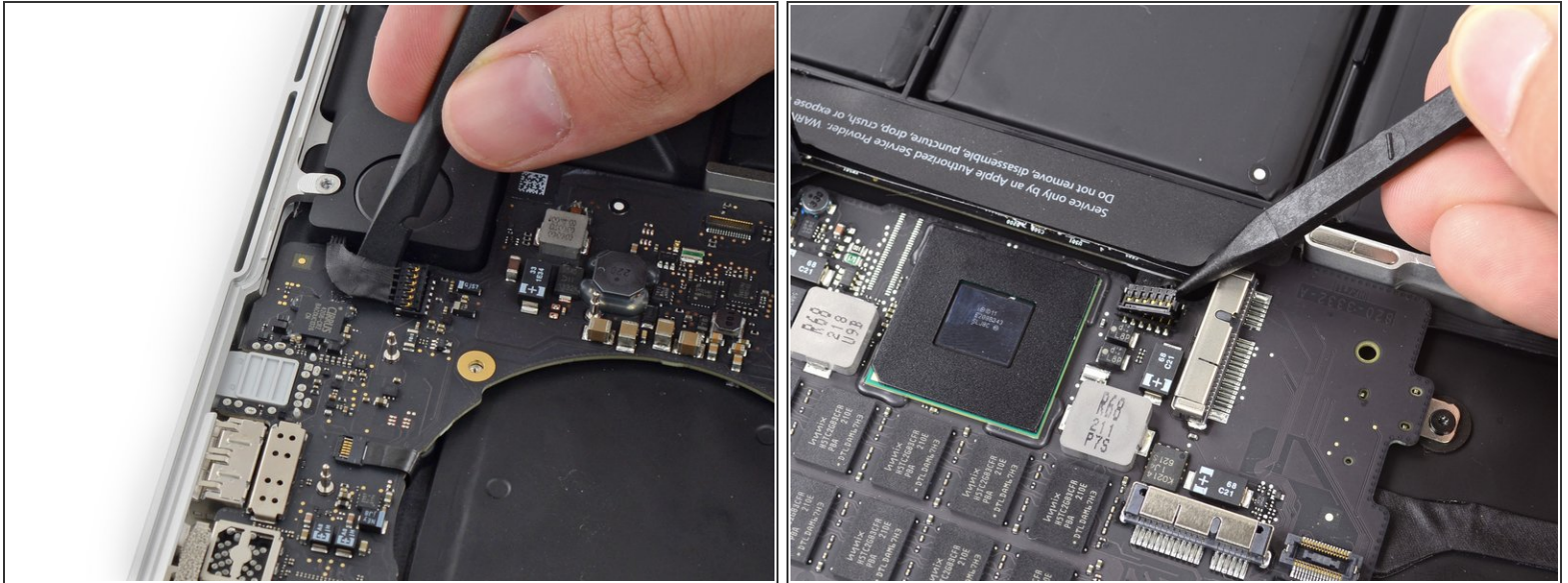
作成者: Andrew Optimus Goldheart



 ツール:

- T5トルクスドライバー (1)
- スパッジャー (1)

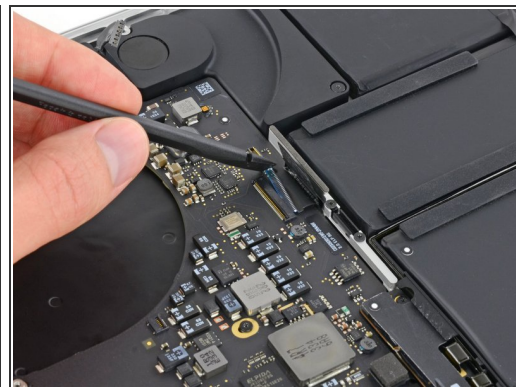
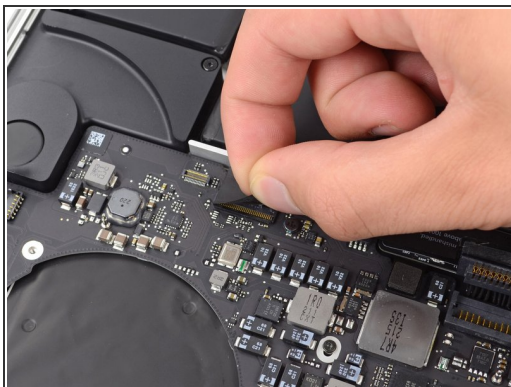
手順 1 — ロジックボードアセンブリ



- スパッツァーの平面側先端を使って、左側スピーカーのコネクターを基板上のソケットから持ち上げて接続を外します。
- 右側のスピーカーコネクターを基板上のソケットから持ち上げて接続を外します。

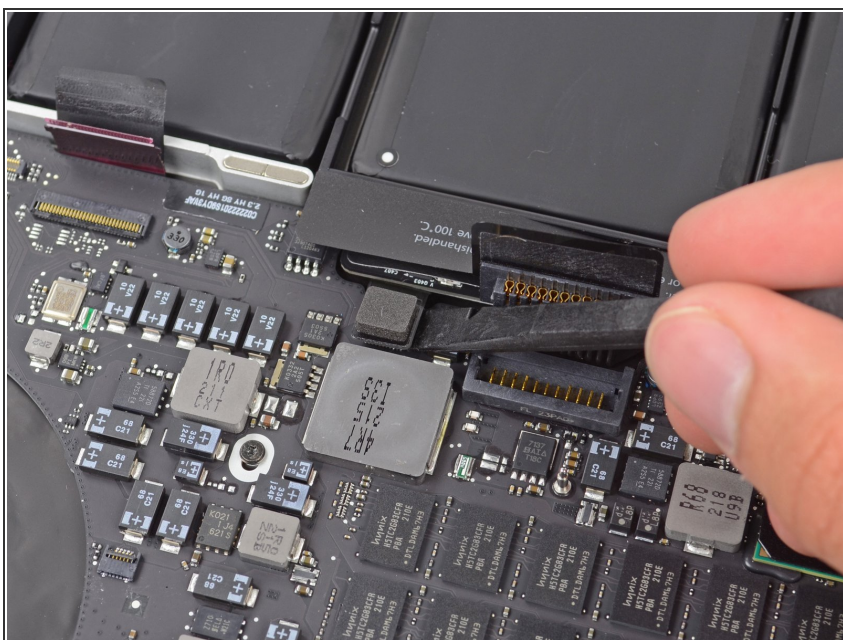
⚠ ケーブルの先端をこじ開けてください。ソケット自体には接触しないでください。ソケットをこじ開けてしまうと基板から外れてしまいダメージに繋がります。

手順 2



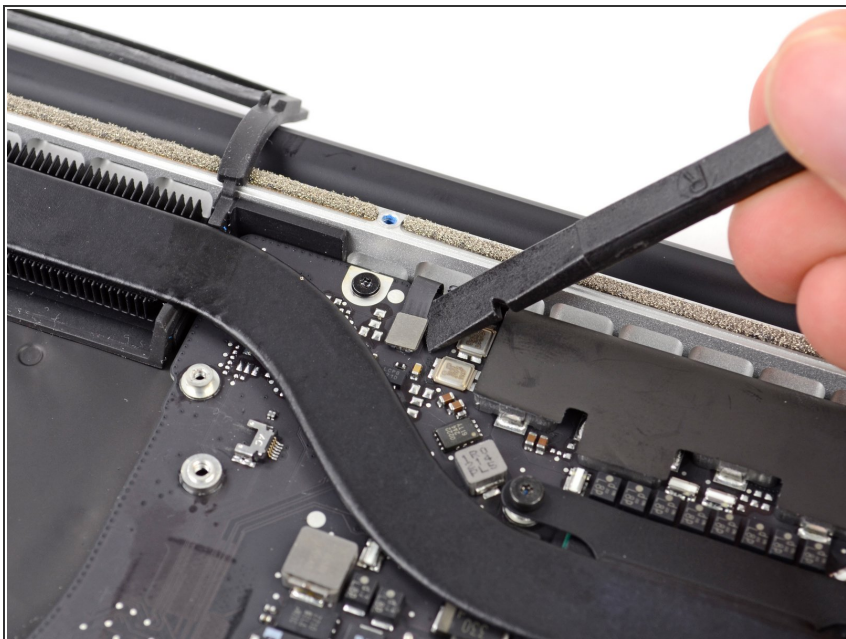
- キーボードリボンケーブルのコネクター上部を覆っているテープを剥がします。
 - スパッジャーの平面側先端を使って、キーボードリボンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを裏返してください。
- ⚠ 蝶番の固定フラップ上をこじ開けているか確認してください。ソケット自体には接触しないでください。
- スパッジャーの平面側先端を使って、ソケットからキーボードのリボンケーブルを押し出します。

手順 3



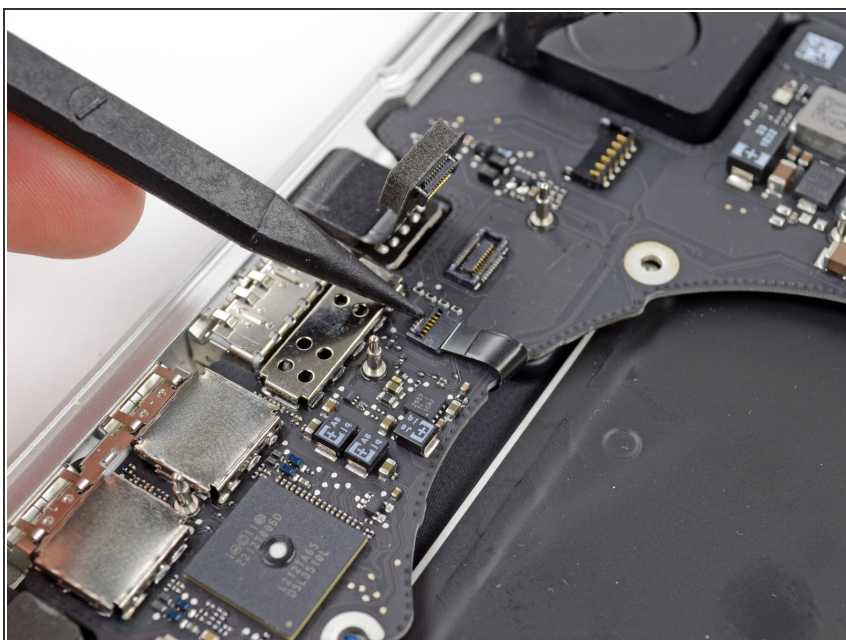
- スパッジャーの平面側先端を使って、ソケットからトラックパッドのリボンケーブルコネクターをこじ開けます。

手順 4



- スパッジャーの平面側先端を使って、基板上のソケットからキーボード用バックライトのコネクターをこじ開けます。

手順 5



- スパッジャーの先端や指の爪先を使って、マイク用リボンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを裏返します。

⚠ 蝶番の固定フラップをこじ開けているか確認してください。ソケット自体には接触しないでください。

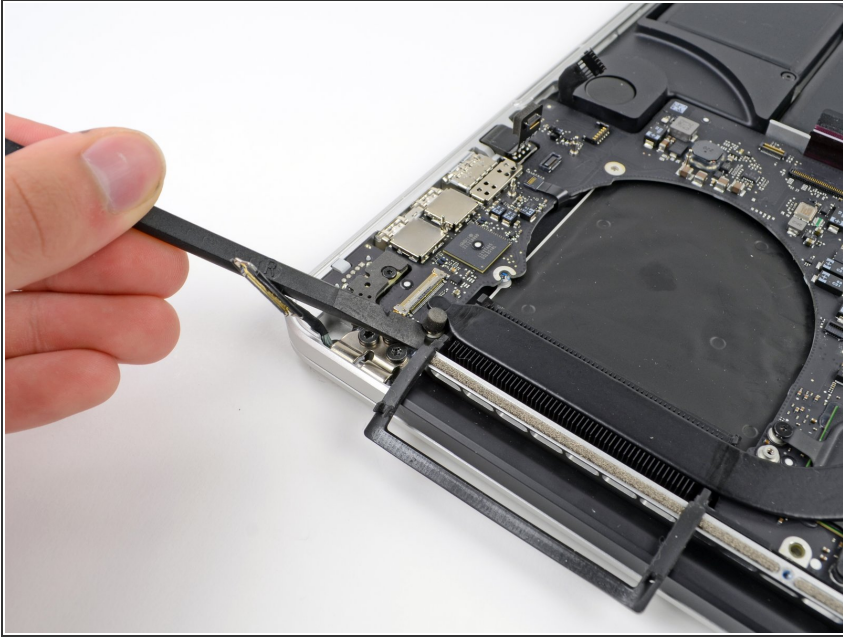
- マイクのリボンケーブルをソケットから引き出します。

手順 6



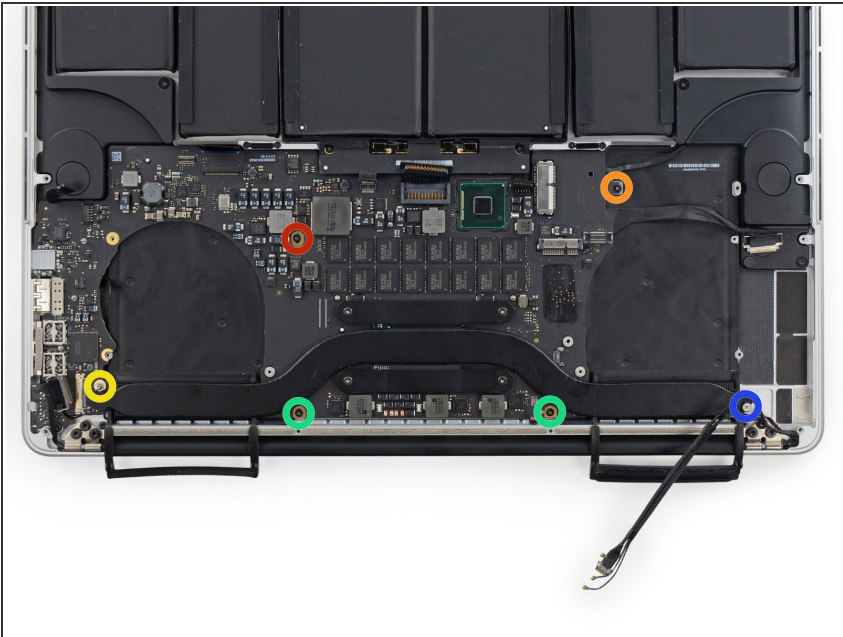
- スパッツァーの先端を使ってディスプレイのデータケーブル用ロックを裏返して、DC-In側にこれを回転させます。
 - ディスプレイのデータケーブルを基板上のソケットから真っ直ぐ引いてください。
- ⚠ ディスプレイデータケーブル上を持ち上げないでください。ソケットは大変壊れやすいためです。ケーブルを基板と平行に引いてください。

手順 7



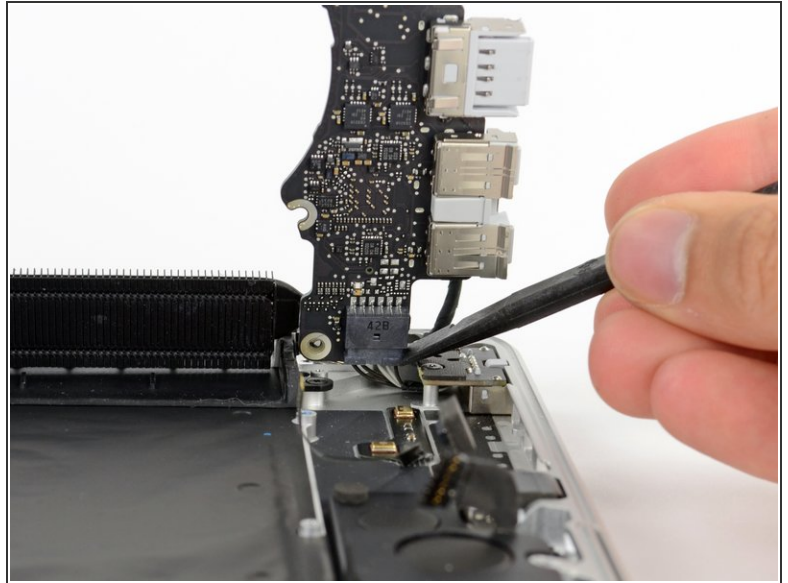
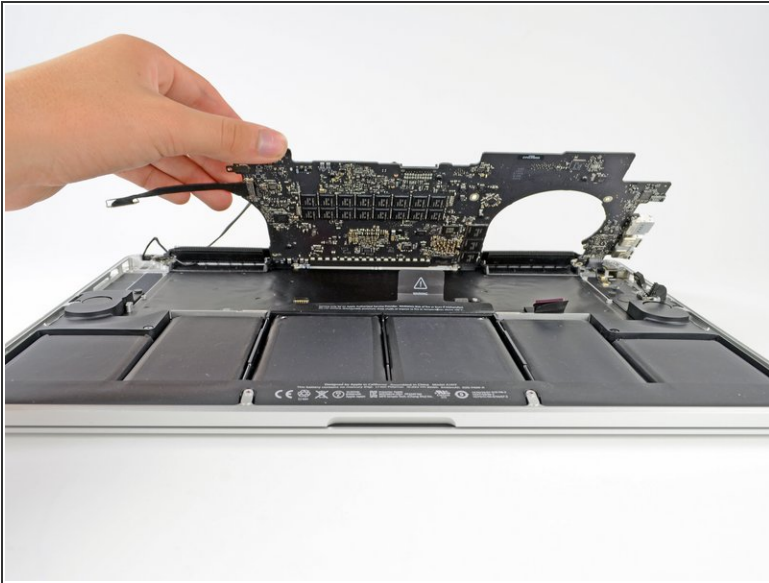
- スパッジャーの平面側先端を使って、MagSafe 2コネクタ付近のネジ頭上のゴム製キャップを剥がします。

手順 8



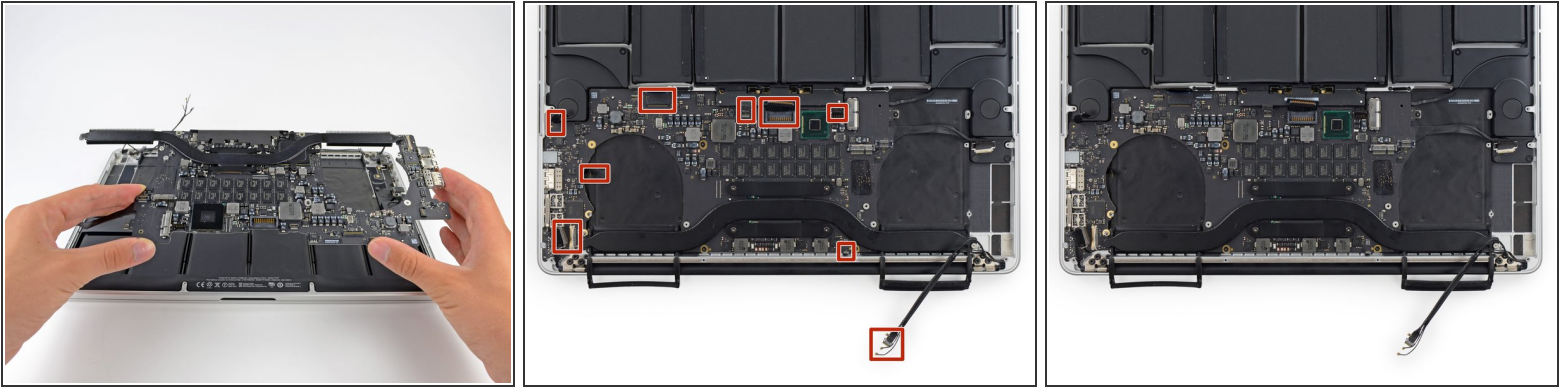
- 上部ケースに基板を固定している次の6本のネジを外します。
 - 3.1 mm T5トルクスネジ1本
 - 2.5 mm T5トルクスネジ1本
 - 5.5 mmシルバーT5トルクスネジ1本
 - 5.7 mm T5トルクスネジ2本
 - 3.8 mm シルバーT5トルクスネジ1本

手順 9



- バッテリー付近の端を持ち上げて、MacBook Pro上部に向けて傾けます。
- ① 基板の右端に沿って留められたポートにアクセスするため、基板を数ミリ左側にスライドしてください。
- スパジヤーの平面側先端を使って、丁寧にMagSafe 2コネクタを基板上の下側にあるソケットから外します。
- MagSafe 2コネクタの取り外しは、難しい場合があります。 バッテリーの交換などの作業をするために一時的にロジックボードを取り外す場合は、[MagSafe DC-Inボードを固定している2つの 2.5 mm T5トルクスネジを外す](#)と作業が簡単になります。 それからロジックボードとMagSafeボードを一緒に取り出してください。

手順 10



- MacBook Proから基板アセンブリを取り出します。

- ☑ 基板を再装着する際は、すべてのケーブルを確認して、基板の下に隠れていないか点検してください。
 - パーツ上部から時計回りに：バッテリー、右側スピーカー、キーボード用バックライト、AirPort/カメラ、ディスプレイ、マイク、左側スピーカー、キーボード、トラックパッド

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。